

令和4年1月24日

独立行政法人 日本スポーツ振興センター

J S C拠点における新型コロナウイルス感染者の発生について

日本スポーツ振興センター（J S C/東京都港区北青山）が管理・運営する、国立代々木競技場（東京都渋谷区神南）に勤務する協力会社のスタッフ（1名）が、新型コロナウイルスに感染していることを、本日1月24日に確認しました。

当該スタッフは1月22日に医療機関で検査を受検し、陽性が判明しました。（最終勤務日 1月18日）

これを受け、当該スタッフ執務エリア、共用部分の消毒を行っています。

保健所からの連絡により、国立代々木競技場の施設利用者、関係者に、今回の陽性に伴う濃厚接触者はいないことを確認しており、施設運営への影響はないと判断されることから、国立代々木競技場各施設の営業を継続しています。

なお、現時点で他の施設利用者、関係者から体調不良の報告はありません。

国立代々木競技場では現在、施設利用を含む外部来訪者及び職員の施設の入館に際しては、入館時にマスクの着用、手指のアルコール消毒、サーモグラフィーによる検温等を行っています。

また、日常的に新型コロナウイルス感染症予防対策に対応した清掃・消毒作業や感染防止策を行っています。

今後も感染拡大防止と、施設利用者、関係者、職員の安全確保を最優先に運営を行ってまいります。

以上